

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
交野市	倉治地区(神宮寺)	令和3年6月30日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	21.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	17.7ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	6.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.9ha
ii うち後継者がいない又は後継者が就農しない予定である農業者の耕作面積の合計	1.0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.8ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・70才以上で後継者不在、後継者が就農しない予定又は後継者未定である農業者の耕作面積が3.9haある。
 ・今後、中心経営体が対象地区内で引受の意向のある農地面積より多いため、新たな農地の受け手の確保が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

水田利用については、農作業受託の活用や参入を希望する中心経営体等の受入れを促進していくことにより対応していく。
 畑利用については、中心経営体である国版認定農業者や大阪版認定農業者への農地の集約や、参入を希望する中心経営体等の受入れを促進することにより対応していく。
 必要に応じて、集落営農や農業法人の立ち上げを検討していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

鳥獣被害防止対策の取組方針

鳥獣被害の状況や侵入防止柵・檻等の設置状況を把握し、地域で鳥獣被害防止対策に取り組む。

農業用施設の整備の取組方針

灌漑施設等の農業用施設の点検を行い、整備が必要な箇所を把握する。地域で灌漑設備の整備に取り組む。

農地、営農環境の保全のための取組方針

現在、貸付け等の意向が確認された農地は、19筆、9,129㎡となっている。今後も農地の貸付け等の意向を把握し、中心経営体等の借受希望者への貸付けにより、農地、営農環境等の保全に取り組む。

新規就農者の受入れ方針

近年、神宮寺地区への新規就農を希望する者が増加している。地域の新たな担い手となるよう、地域で育成・受入れを行う。

神宮寺ぶどうの産地の維持・発展のための取組方針

神宮寺ぶどうの産地の維持・発展のため、関係者による話し合いを継続し、産地の維持・発展の取組を進める。